

# 大沢野地域

## まちづくりと公共施設の「これから」を考えるワークショップ

7月29日(日)に開催しました第1回ワークショップについてお知らせします！

本市では、人口減少と超高齢社会の本格的な到来に伴い、今後ますます財政状況が厳しくなることが予想されており、このまますべての公共施設を維持し続けることは明らかに困難な状況となっています。

こうしたことから、限られた財源のなかで、将来にわたって公共施設の適切な維持管理を行うため、施設の再編など「公共施設マネジメント」の取り組みを進めていますが、施設の再編については地域の皆様に様々な思いやご意見があることも承知しておりますので、地域の皆様のご意見を踏まえ、計画を策定していきます。

今年度は、大沢野地域・大山地域の公共施設のあり方について、地域にお住まいの皆様と富山市がともに考えるワークショップを開催し、このワークショップで出たご意見や地域の実情などを受け止め、今後の「地域別実行計画」「リーディングプロジェクト」(次ページ参照)の策定に反映させるとともに、地域の皆様が住み続けたいまちづくりを進めていきたいと考えております。

こちらの「ニュースレター」は、ワークショップで検討されている内容をお知らせするとともに、広く地域にお住まいの皆様のご意見を募集するため、お配りするものです。

## 富山市における公共施設の現状と課題

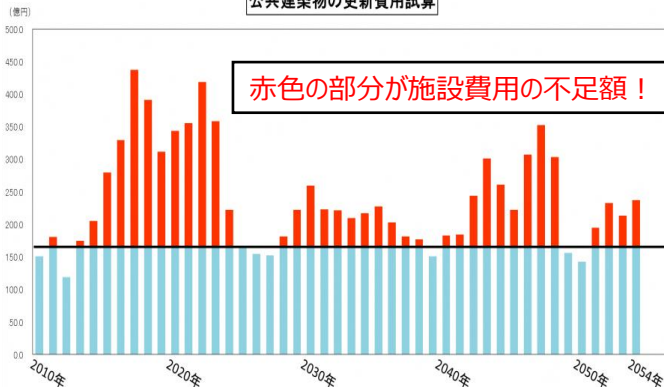
### ◆ 公共施設の老朽化

富山市の公共施設の築年別整備面積を見ると、全体の40%がすでに建築後30年以上経過しています。

これらの築30年を超える建物は今後、大規模修繕や建替えが必要となり、多額の費用が必要となることが想定されます。

今ある公共施設をこのままの規模で維持すると、今後40年間で約3,300億円、年平均82.5億円が不足すると見込まれます。

公共建築物の更新費用試算



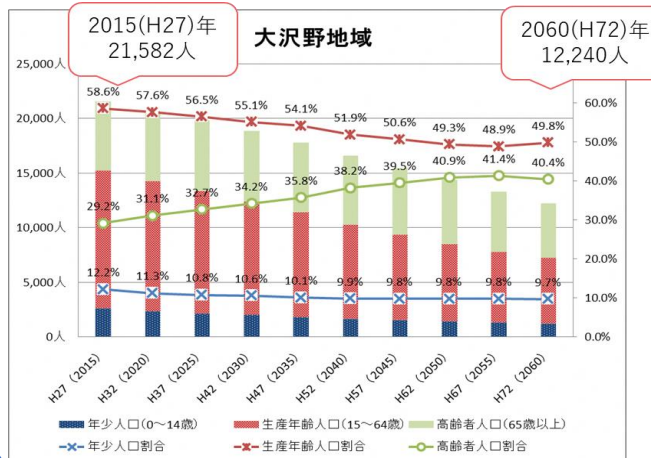
※横線は直近の公共施設への投資額の平均

### ◆ 人口減少

富山市の人口は、平成72年(2060年)には、現在から10万人以上減少し、約302,000人になると推計されています。

なお、大沢野地域では、平成72年(2060年)には、現在の人口から約4割減少し、12,240人になると推計されています。

人口減少、そして少子高齢化の進行により、市税などが減収し、公共施設にかけられる費用はますます減少することが見込まれます。



## 地域別実行計画・リーディングプロジェクトの策定

### 地域別実行計画とは

地域別実行計画は、地域の方のご意見や地域の実情を踏まえ、**公共施設の用途別に将来の整備方針を定めるもの**です。

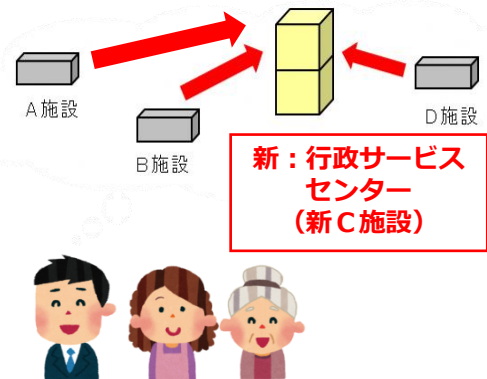
ワークショップでは、地域の課題を踏まえ、特色を反映した再整備の方向性についてご議論いただきます。

### リーディングプロジェクトとは

リーディングプロジェクトは地域の核となる地域生活拠点（郊外の串とお団子のお団子エリア）において、**大沢野行政サービスセンターを核に、公共施設の再編を検討するもの**です。再編の検討対象となる施設・事業については、具体的な実施スケジュールを明記します。

ワークショップでは、どのような機能を持ち、どのような施設とするかをご議論いただきます。

イメージ図：  
リーディングプロジェクトによる再編



## ワークショップの流れ（予定）

富山市	ステップ1 進め方 最終目標の設定 課題の抽出	ステップ2 地域の課題と 課題解決の方策	ステップ3 再配置案の提示 長所・短所 (比較衡量)	ステップ4 再配置案の選定	市が「地域別実行計画「リーディングプロジェクト」を策定
	第1回ワークショップ 7月29日	第2回ワークショップ 8月25日	第3回ワークショップ 10月28日	第4回ワークショップ 12月22日	
地域の皆様とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 進め方の確認</li> <li>● 検討にあたっての前提条件の理解</li> <li>● 地域別実行計画、リーディングプロジェクトの内容理解</li> <li>● 普段感じている公共施設を取り巻く課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域を取り巻く公共施設の課題</li> <li>● 課題解決の方向性、アイデア出し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域にある公共施設の今後の方向性（用途別方針）</li> <li>● リーディングプロジェクトによる再配置案の検討（市が作成した案がWSなどの意見を踏まえて作成されているか）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 案の絞り込み</li> <li>● 修正用途別方針案の妥当性確認</li> <li>● 再編を進める上での配慮事項</li> </ul>	
	ニュースレター	ニュースレター	ニュースレター オープンハウス	ニュースレター	

オープンハウス：住民の皆様が集まる施設などで行うパネル展示型説明会です。ここでも意見をお聴きします。

## 大沢野地域 第1回ワークショップが開催されました

7月29日（日）、大沢野生涯学習センターにて、「大沢野地域 第1回まちづくりと公共施設の「これから」を考えるワークショップ」が開催されました。大沢野地域にお住まいの25名の方が参加され、活発な意見交換が行われました。

今回のワークショップでは、4つのグループに分かれ、ワークショップの進め方の確認と、大沢野地域の公共施設の現状と今後について課題だと感じていることについての議論が行われました。最後には全体で議論した内容を共有し、第1回のワークショップを終えました。



第1回ワークショップの様子

# 第1回ワークショップで皆様からいただいたご意見

## ◆ 計画検討やワークショップの進め方について

### ■ 地域別実行計画の考え方や検討の進め方

- 市の中心部ばかりに投資をしていて、周辺地域が置き去りにされているのではないかと。自分達の税金が他の地域のために使われている気がする。
- 周辺地域が不便なら、市の中心部に移り住んだら良いといった主旨のことを市長が言ったと聞いた。長く住んだ場所を離れるというのはなかなか難しいことだ。そういうことを簡単に言われてしまうと、本当に住民のことを考えているのかと疑問に思う。
- 平成17年の市町村合併前は、現行政サービスセンターが町役場だったので、大沢野の住民にとって行政が近い存在だった。現在は地域に関する相談に行くと、「市役所（本庁舎）へ直接言ってください」と言われるようになってしまった。
- 市街地エリアの地域、市街地から離れている地域、対象施設が多いなかで、話がまとまるのか疑問である。
- 予算の縮小を前提にされると、前向きな議論がしづらい。
- 将来の更新費用推計は、既存の施設を改修した場合だけでなく、施設の統合や廃止、耐震補強による長寿命化を行った場合のシミュレーションもしてほしい。

### ■ ワークショップの進め方

- 以前に出た会合では、いろいろ出した要望が受け入れられず残念な思いをした。今回のワークショップも同じようにならないかと心配だ。
- 既に方向性は決まっているが、形式的に意見を聞くアリバイ作りの場なのではないかと思ってしまう。
- 自分たちもできる限り、このワークショップの場で意見を伝えていくので、それらの意見を踏まえて市が責任を持ってまとめてほしい。
- ワークショップは施設を無くす、無くさないを決める仕分けの場なのか。最終的な成果のイメージがわからない。
- ワークショップで議論してほしいという内容の幅が広いので、もう少し議論のテーマを絞った方が良いのではないかと。
- ワークショップに参加メンバーの意見だけでなく、各団体に持ち帰って意見を聞くということはないのか。
- 広く意見を聞くためにオープンハウスをするということだが、もっと人が集まる場所で開催すべきだ。
- 小学校、中学校が対象施設として入っているが、統廃合を視野に入れているということか。
- 資料を十分に把握した上で話し合いたい。1週間くらい前には資料を送ってほしい。

## ◆ まちづくりの現状と課題

### ■ 人口減少

- 船嶽小学校の来年度の新入生は数名という話を聞いた。地域の人口が減ってきているのを身にしみて感じている。
- 下タは大沢野でも細入でもない宙ぶらりんな存在で、人口が減り、施設もサービスも廃止されて不便なことが多い。
- 子どもを産んでも安心して育てられる、地域で子どもを守っていく発想でまちづくりに取り組む必要があると思う。
- 中山間地に人が暮らすことで里山が保全されていると思う。中心部だけ整備を行うのではなく、中山間地の住民もサポートして住み続けられるようにしてほしい。

### ■ 生活圏・アクセス

- 公共施設が充実してもそこに行けなくては意味がない。交通アクセスと公共施設の再編はセットで検討してほしい。
- シルバータクシーは利用範囲が大沢野地域に限定されていたり、回数が限られているため、気楽に利用できない。
- 下タ地区の住民は細入で用事を済ませる人が多いので、生活圏を見直したまちづくりの検討が必要ではないか。
- 旧笹津線の周辺に多くの住宅があるが、公共交通がないので、国道や笹津駅までのアクセスが大変になっている。
- バスの乗車口に段差があり、駅もホームまで階段を使わないと行けないので高齢者には大変である。
- 今後は自動運転の技術なども出てくる。新たな技術を使って駅や国道へのアクセスを考えてほしい。

### ■ まちの活性化

- 大沢野には伝統的な文化がなく、民謡などもない。現在の祭り以外にも自分たちが楽しめる催しが必要だと思う。

### ■ 防災

- 命を守ることが重要である。中心部だけに大きな施設を整備すると、車が使えない状況になった際、地区によっては歩いて行ける施設がない状態になる恐れがある。
- 予期せぬ大災害が起きる時代であり、富山市本庁舎に津波が来る可能性もある。大沢野地域は市内でも特に災害に強いと言われている。行政サービスセンターを複合施設として整備するのであれば、本庁舎が災害対策本部として機能できなくなった時に、庁舎として対応できるようにすることを念頭に入れて整備してほしい。

## ◆ 公共施設の現状と課題

### ■ 集会施設

- 人口が減少するため施設の規模を縮小する必要があることは理解できるが、住民が交流する場所としての機能や避難所としての機能は残してほしい。
- 下タ地域では70～80歳の高齢者が多いので、今ある施設は残して災害時の避難所として使用したい。

### ■ 文化施設・図書館

- 成人式は文化会館で行っていたが廃止されて使えなくなった。500人規模の人が集まれる場所が必要だ。
- 新成人の数は今後減っていくだろう。将来的な需要を踏まえて、ホールの規模を考えると良い。
- 文化会館のホールの代わりとなる施設が必要だと思う。生涯学習センターやふれあいセンターのホールでは収容しきれない人数に対応できる広さのものがいいと思う。
- 多目的に使えるホールが良い。
- 生涯学習センターの部屋で成人式や演説会等を行っているが、300席分パイプ椅子を用意するのも大変である。
- 大久保ふれあいセンターは、もう少し子どもたちが集いやすくなったほうがよい。子育ての視点から考えるとホールをフラットにして多機能なスペースにしたほうがよいと思う。
- 文化会館が廃止されたが今後どのようにするのか、方針を示してほしい。
- 子どもが図書館に行く場合、自転車で行くことができず、親と一緒にバスや車で行く状況である。学区ごとに借りやすい仕組みができると良いと思う。

## ■レクリエーション・観光施設

- 地域内の施設だが、青少年体育センターはどんな施設なのかわからない。
- 昔は武道が盛んな地域だった。競技人口が減ってきていると思うが、代替となる施設が必要だろう。多目的に使用できる場所であれば、他団体でも利用できる。
- 柔道や剣道の練習は平日の夜なので、中学校の武道場を使用することはできないか。
- 下夕の体育館を廃止してしまうと、避難時に集まれる場所も必要になると思う。
- 下夕北部体育館は稼働率が低いが、学童の子どもたちがもと利用しやすいようにしてはどうか。
- 室内で子どもたちが予約しなくても気軽に運動したり身体を動かせる場が必要になってくるのではないか。

## ■学校・幼児・児童施設

- 学校が児童数に応じて縮小されることは理解できるが、地域の避難所としての機能は残して欲しい。
- 小、中学校の駐車場が少ない。行事の際は学校の近隣の公共施設や会社の駐車場も使っている。
- 学校を統合した際には通学の面で不安がある。
- 少人数教育を受けさせたいニーズもあるので、他の地域から通学できるシステムを考えると良いのではないか。
- 子どもは放課後も含めて小学校区内で生活するのが安全面から良いと思う。空き教室を活用して地域で子どもたちを見守ることができる仕組みが作れたらよい。
- 放課後、休日の子どもが集う場、遊ぶ場については小学校区ごとに配置してほしい。

## ■その他

- 子育て世代へのサポートをしないとますます子どもの数が減ってしまうと思うので、子育て支援機能は必要だ。
- 文化会館にあった調理室がなくなって、料理教室ができなくなったと聞いた。調理室は必要だ。
- 地域のお母さん達で気軽に集まりたい時などに貸館施設を利用したいが、団体登録できないと利用料が高いし、団体登録するのが面倒で利用を諦めてしまう。
- 施設だけ立派なものでも、その目的や中身がニーズに合っていないと結局使われない。きちんとニーズ調査をしてもらいたい。
- 子どもから高齢者までの多世代が集え、交流できる施設があるとよい。子どもたちにとってもよい影響があるし、高齢者も元気でいられる。

## ◆リーディングプロジェクトについて

### ■複合施設の機能面

- 複合施設の中にホールを入れて文化拠点にしてほしい。
- 文化会館にある機能は縮小してもよいので入れてほしい。
- 飲食可能で30人規模の部屋がほしい。
- 武道館と体育センターの体育施設を集約すると良い。
- 病児保育の機能を設けてもらいたい。富山市の中心部には病児保育の施設があるが大沢野地域からは遠い。
- 大沢野は調理室がなくなり、子ども対象の離乳食のイベントなどができなくなった。
- 休みの日に子どもが遊べたり、高齢者ボランティアの方から昔の遊びを教えてもらえたりするような場があると良い。育児の悩み相談やママ友の交流の場にもなると思う。
- 多世代の人が気軽に集まれる施設になるように、機能の集約だけでなく、デザインやアクセスにも配慮してほしい。
- 買い物ができる民間の施設などを誘致してほしい。
- 文化会館があった頃は、文化会館に行けば子育て支援に關する大体のことが済んでいたが、今は指定された場所に行かなくてはならず、下夕の住民にとっては大変である。子育て支援センター機能は複合施設に集約してほしい。
- 子どもの防犯、見守りの観点から、複合施設にも防犯カメラは設置してもらいたい。

### ■その他

- 今年4月に行政サービスセンターと文化会館を複合した施設を建設してほしいという要望を出している。そういう経緯も含めて検討してほしい。
- 行政サービスセンターを壊すことが前提になっているが、そう決めた理由を説明してほしい。
- 耐震工事をして使い続けるならば、しっかり耐震化して地震に強い、頑丈な建物にすることが重要だ。
- なぜリーディングプロジェクトを大沢野でやるのか。
- 新たな複合施設への各地区からのアクセスを考えてほしい。
- 今までのように駐車場は広く整備してほしい。
- 機能を集約して複合施設にすることは単体で施設を構えるよりも良いと思う。ただし、様々なものを複合化しすぎることによって利用者が集中し、利用できないと困る。
- 稼働率が低いのは運用の問題もある。ソフトも含めて考える必要がある。施設内を全て行政が運営するのではなく、市民が自発的に運営する場所もあると良い。
- 複合施設の名前には「大沢野」の名前を残してほしい。

## ご意見募集

ワークショップに参加される方だけでなく、多くの大沢野地域の皆様の意見を今後の計画に反映させたいという考えのもと、ご意見を募集します。

- ワークショップで検討されている内容について
- 大沢野地域のまちづくりや公共施設について

下記の「お問い合わせ先」まで、メール・ファクス・郵便・持参により、どうぞお気軽にお届けください。差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

**皆様のご意見をお待ちしています！**



## お問い合わせ先

富山市企画管理部行政管理課  
公共施設マネジメント推進班  
電話：076-443-2021  
ファクス：076-443-2170  
E-mail：gyousei-01@city.toyama.lg.jp

## 公共施設マネジメントに関する情報

富山市の公共施設マネジメントに関する情報はHPでご紹介しています。

<http://www.city.toyama.toyama.jp/kikakukanribu/gyoseikanrika/sougoukanrikeikaku/sougoukanrikeikaku.html>